



株式会社 F Cホールディングス

6542 東証スタンダード

個人投資家向け I Rセミナー

2022年11月26日（土）

代表取締役社長 福島宏治



- ◆ 当社とグループ事業概要
- ◆ 成長の軌跡
- ◆ ビジネスモデル、中核事業、成長戦略
- ◆ 株主還元施策
- ◆ 直近業績と期末予想

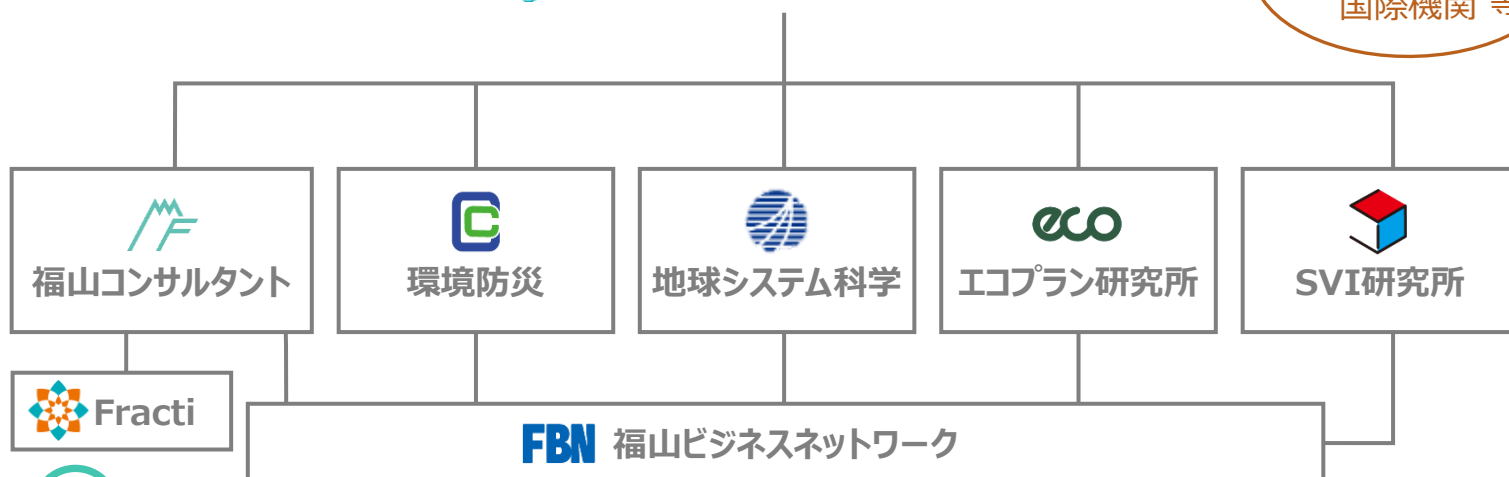
FCホールディングスグループ

純粋持株会社（傘下事業会社7社）

国内主要7拠点、海外2拠点、事業場総数31

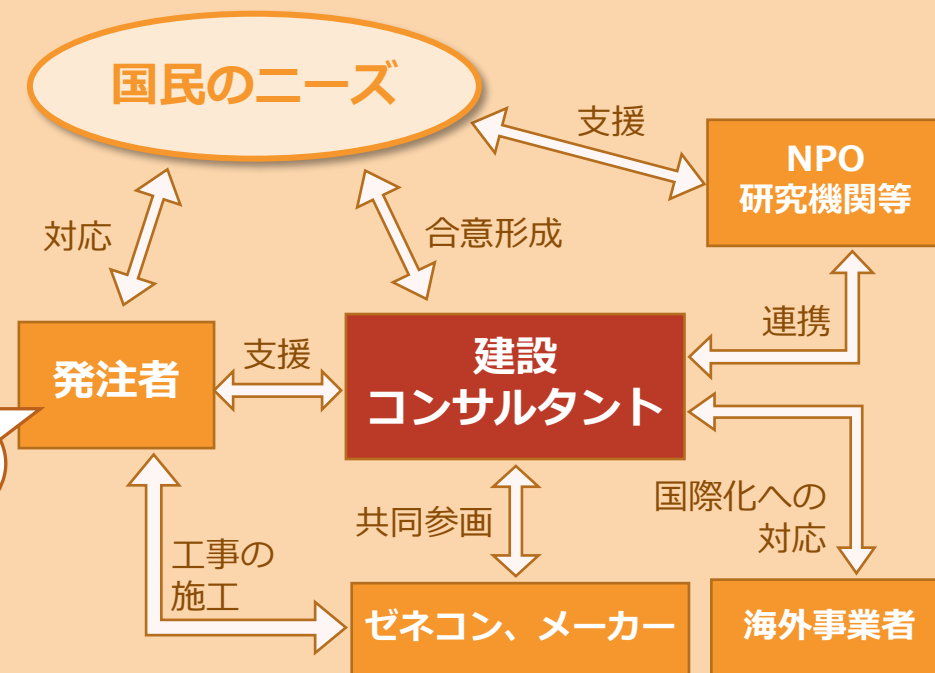
上場会社：株式会社 FCホールディングス

- 設 立：2017年1月4日（単独株式移転） □ 資本金：4億円
- 上場市場：東証スタンダード（証券コード6542）
- 主要事業：建設コンサルタント事業（サービス業分類）
- 従業員数：グループ正社員398名（他契約社員159名）
- 機関設計：監査等委員会設置会社、指名報酬諮問委員会（任意）

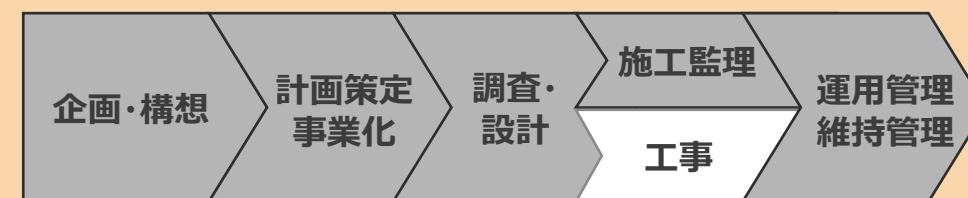


行政機関
民間企業
国際機関 等

建設コンサルタントとは？



建設コンサルタントが関わる公共事業の流れ



事業分野とグループ事業概要

建設コンサルタント（建コン）事業 ◆ 連結売上高8,539万円（FY2022）

モビリティ形成事業

» 交通系事業

快適で効率的な「移動」の実現を支援

道路や公共交通の計画策定、渋滞・交通安全対策計画策定など

2,823
百万円
(33%)

環境、都市・地域創生事業

» 環境系事業

環境を守る事業開発を支援

公共事業や開発事業に伴う環境調査やアセスメントなど

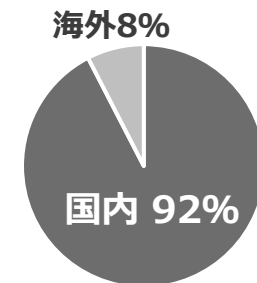
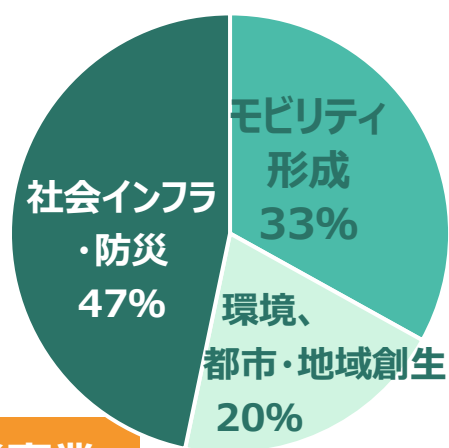
1,726
百万円
(20%)

» 都市・地域系事業

まちをより良くする計画策定を支援

都市や地域の課題解決に向けた計画策定、施設計画策定、
公共サービス への民間活力導入支援など

建コン事業 構成比▶



社会インフラ・防災事業

» 防災・減災・長寿命化系事業

災害に負けない安全なまちづくりを支援

防災・減災に関する計画や災害後の復旧支援、
社会インフラの効率的な維持管理計画など

3,989
百万円
(47%)

» インフラ施設設計系事業

暮らしを守るインフラ施設を設計

新しい道路や鉄道、駅前広場・道の駅など、
社会インフラの計画・設計

» 海外事業

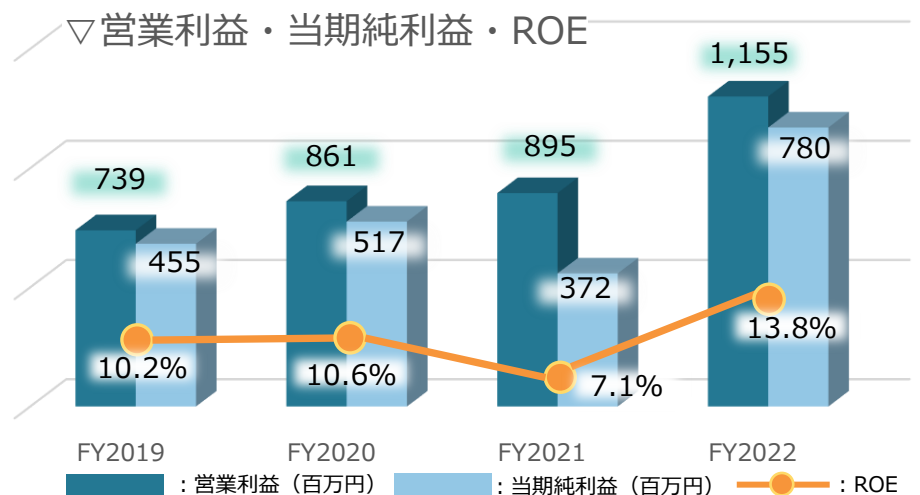
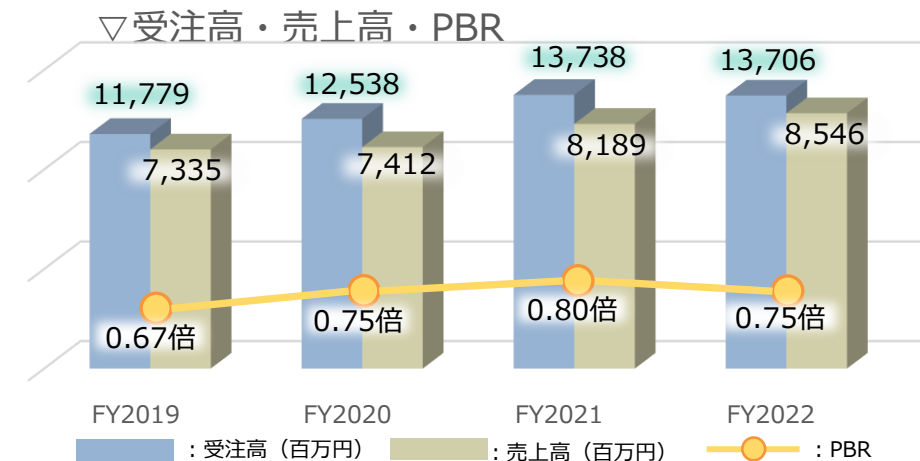
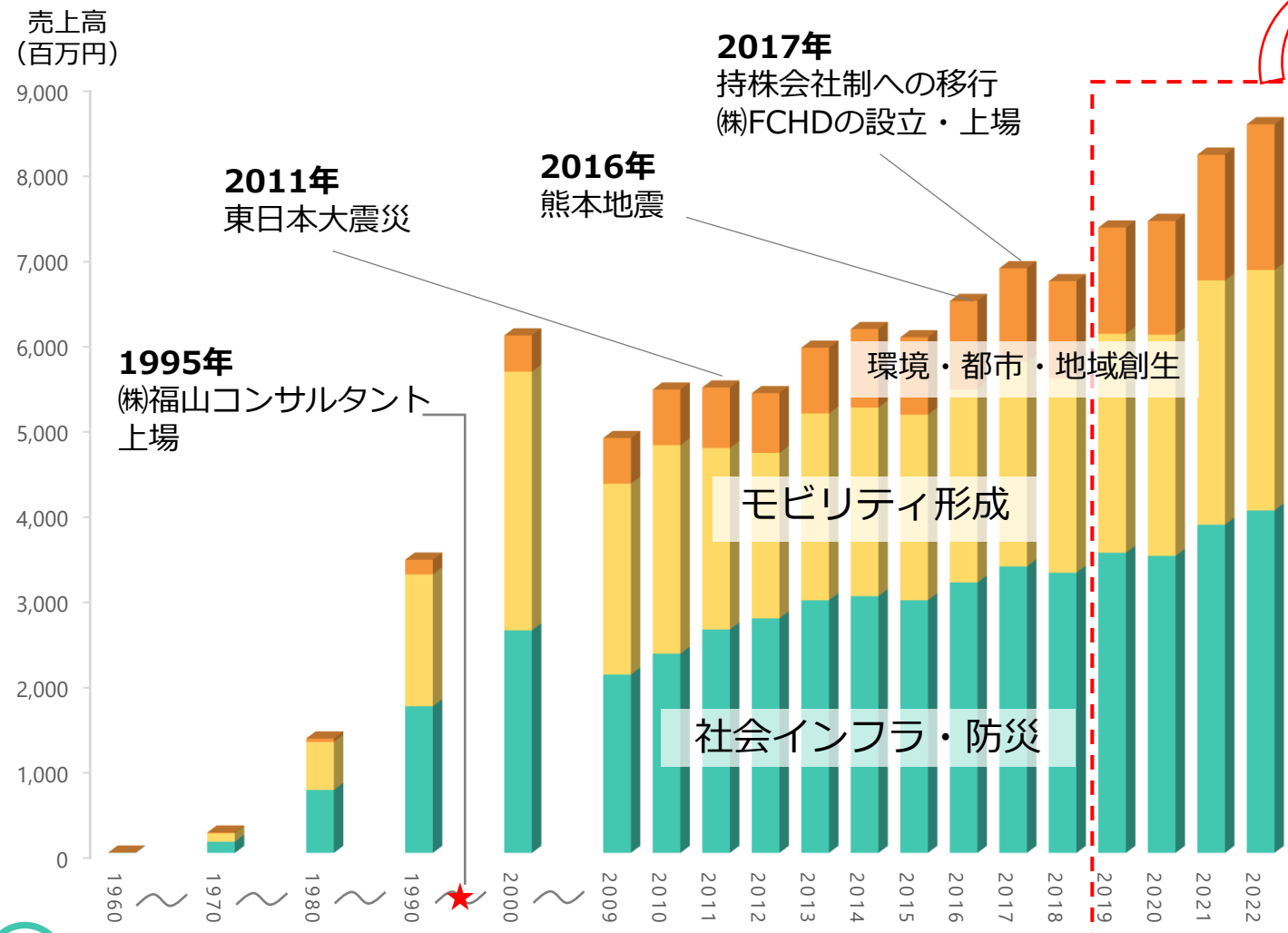
国内で培ってきた技術で開発途上国を支援

様々な国での、防災事業や水資源事業などの支援

648
百万円
(8%)

成長の軌跡

社会ニーズの変化に応じて中核事業分野の組み替えを続けた73年

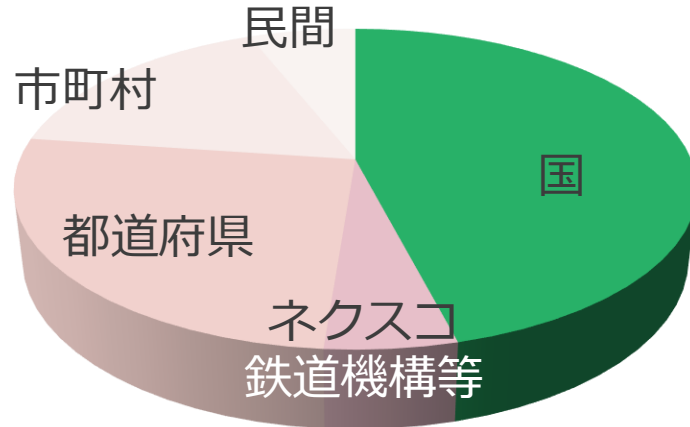


ビジネスモデルと顧客①

高度な技術力、高い提案力で競争優位性を確保

- ◆ 競争優位性の高い技術力で、各事業会社が得意分野に特化した戦略を展開
- ◆ 高い技術力が求められる国や高速道路会社等の受注割合が高い
- ◆ 価格競争に依らない技術提案型受注割合が高い
- ◆ 道路交通分野売上高業界第8位/428社（FCC実績）：日経コンストラクション2022年4月20日調べ ※FCC:福山コンサルタントの略称

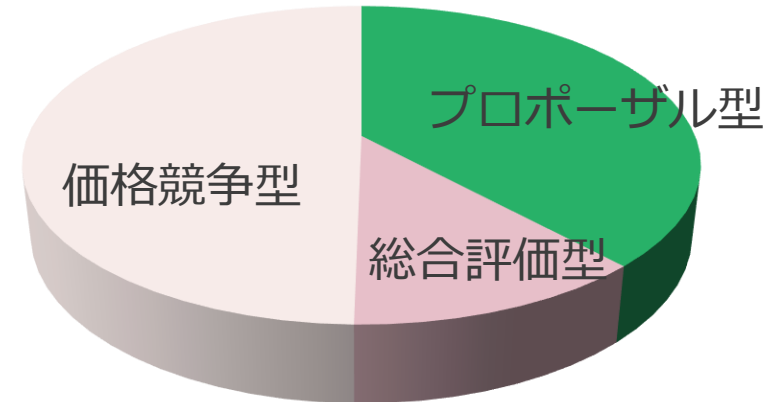
発注機関別受注額割合(FCC)



国・高速道路会社等が主要顧客

インフラ規模が大きく、高い技術力が求められる
国、高速道路会社等からの受注比率が高い

発注方法別受注額割合(FCC)



技術提案力の強さ

プロポーザル型と総合評価型での
受注比率が **50%** を超える

ビジネスモデルと顧客②

確かな技術力で、高い顧客満足度と業界水準を超える収益性

- ◆高度な技術力を支える技術者集団
- ◆高い顧客満足度を継続的な受注につなげて、業界上位の収益率



高度な技術力を備えた技術者集団

- 工学・理学博士 19名
- 技術士 延べ228名



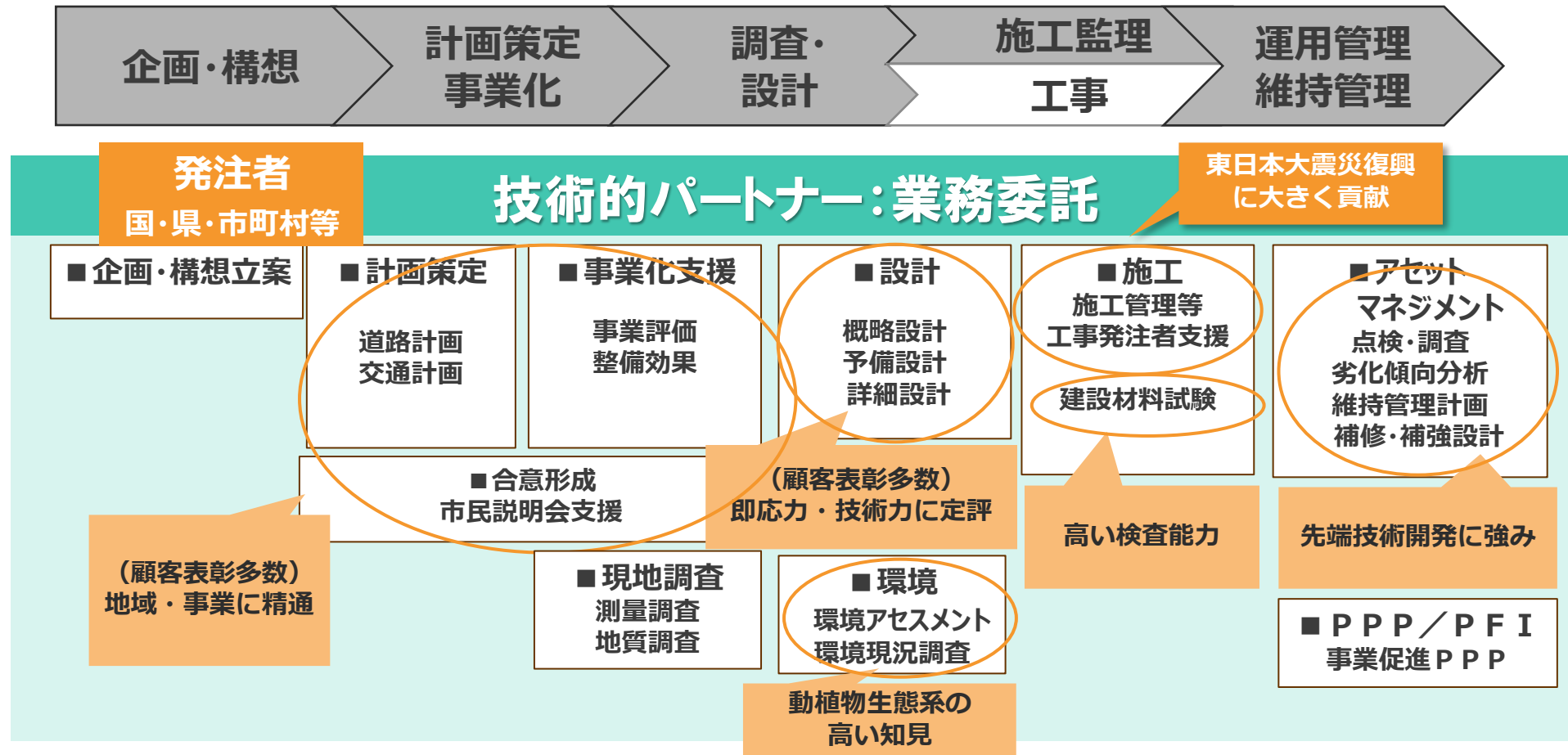
高い顧客満足度、業界上位の収益率

- 表彰等 25件 (R3年度実績)
国土交通省他の国内機関より継続的に受賞 23件
海外での現地国からの表彰 2件
- 売上高総利益率ランキング 8位
※建コン売上高上位50社比較: (R3:FCC)
日経コンストラクション2022年4月20日調べ
- 経常利益率 11.7%
※建コン平均経常利益率 8.5%(R3 : FCC)

ビジネスモデルと顧客③

国内4拠点を中心に地域密着型のワンストップサービスを提供

◆企画構想から計画策定、調査・設計、施工管理、運用・維持管理の全事業領域を担当



渋谷駅周辺整備（交通結節点事業）に参画

-
- 道玄坂一丁目
駅前地区
- 西口デッキ
- 駅周辺地区
- 東京メトロ銀座線
- 東口デッキ
- 東口地下広場
- 西口地下通路
- 桜丘口地区
- JR線
- 国道246号拡張
- 駅南地区
- 渋谷川
- 明治通り
- 渋谷ヒカリエ



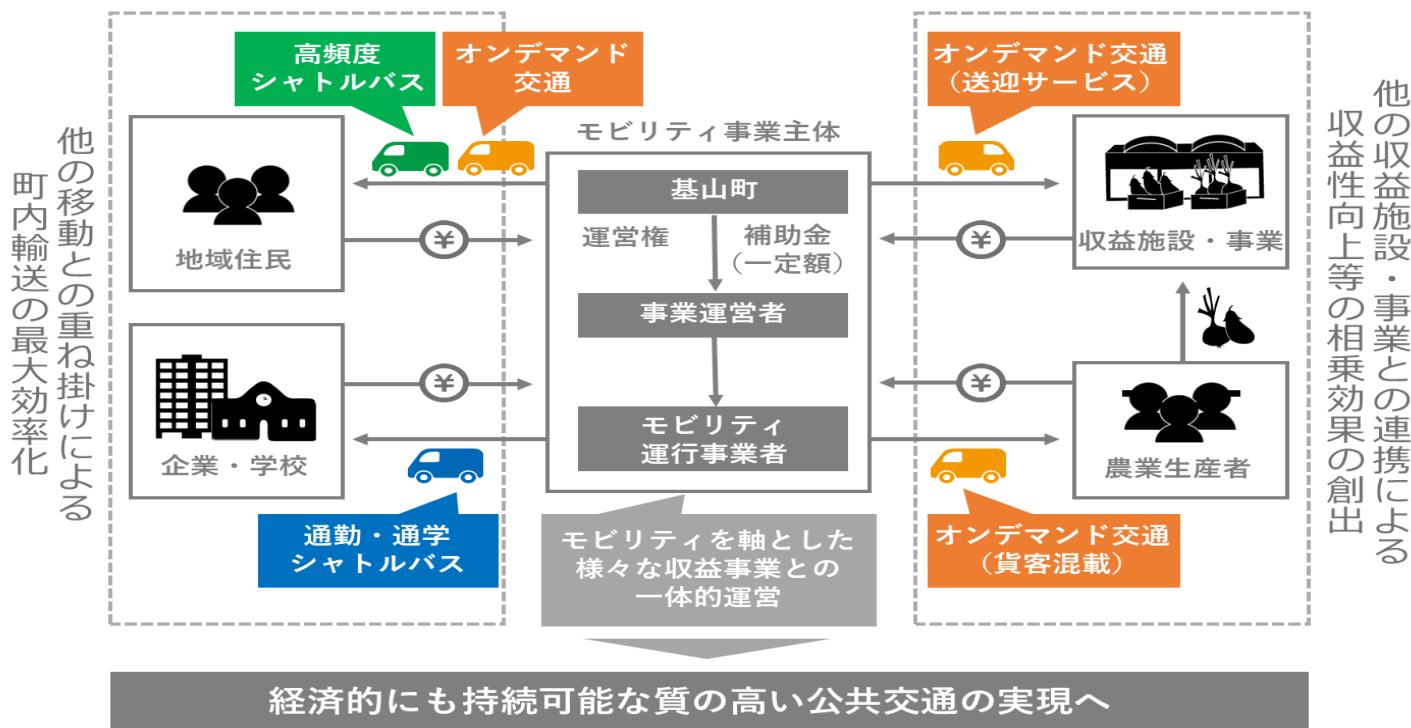
写真：工事の状況

中核事業 モビリティ形成② MaaS

地方都市における持続可能なモビリティ（※MaaS事業）の試行（佐賀県基山町）

◆地方都市のモビリティサービスのあり方を提案（九州経済連合会と連携）

「令和3年度地域新MaaS創出推進事業（スマートモビリティチャレンジ）」の先進パイロット地域に選定/経済産業省



※MaaS：「Mobility as a Service」の略。

すべての交通手段による移動を、ひとつのサービスで完結させ、
人々の移動の利便性を上げるサービスシステムイメージ

行動ビッグデータ解析サービス 「Fracti」のシステム提供開始 ⇒様々なモビリティ事業に活用中



交通解析、需要予測、シミュレーション解析に加えて、
スマートシティ、MaaS導入支援、マーケティング分野
など幅広い分野に活用中



HONDA×ZENRIN×FCCの
連携商品をリリース

移動履歴情報システムに
関連する特許を出願中

中核事業 環境、都市・地域創生① グリーンインフラ

グリーンインフラ（※GI）事業の推進

- ◆グリーンインフラを活用した防災減災、地域活性化への取り組みを積極的に推進中
- ◆茨城県守谷市との官民連携による活動が評価され、国土交通大臣賞を受賞

※グリーンインフラ（Green infrastructure）：自然環境が有する多様な機能をインフラ整備に活用するという考え方

地元産ホップから広がるSDGsの取り組み

地元産ホップづくり



クラフトビール
(若松エール)



副産物の再利用
ビール粕を活用した商品開発

地元企業と連携した
地域活性化とSDGs事業

ビール副産物
糖化粕、酵母粕



はみ出しホップを
原料としたヘアケア商品

▲ホップを活用したSDGsサイクルイメージ

北九州市響灘ビオトープ



▲ビオトープでの体験イベントの様子

国土交通大臣賞受賞



▲市民と一体となったGI活動が評価

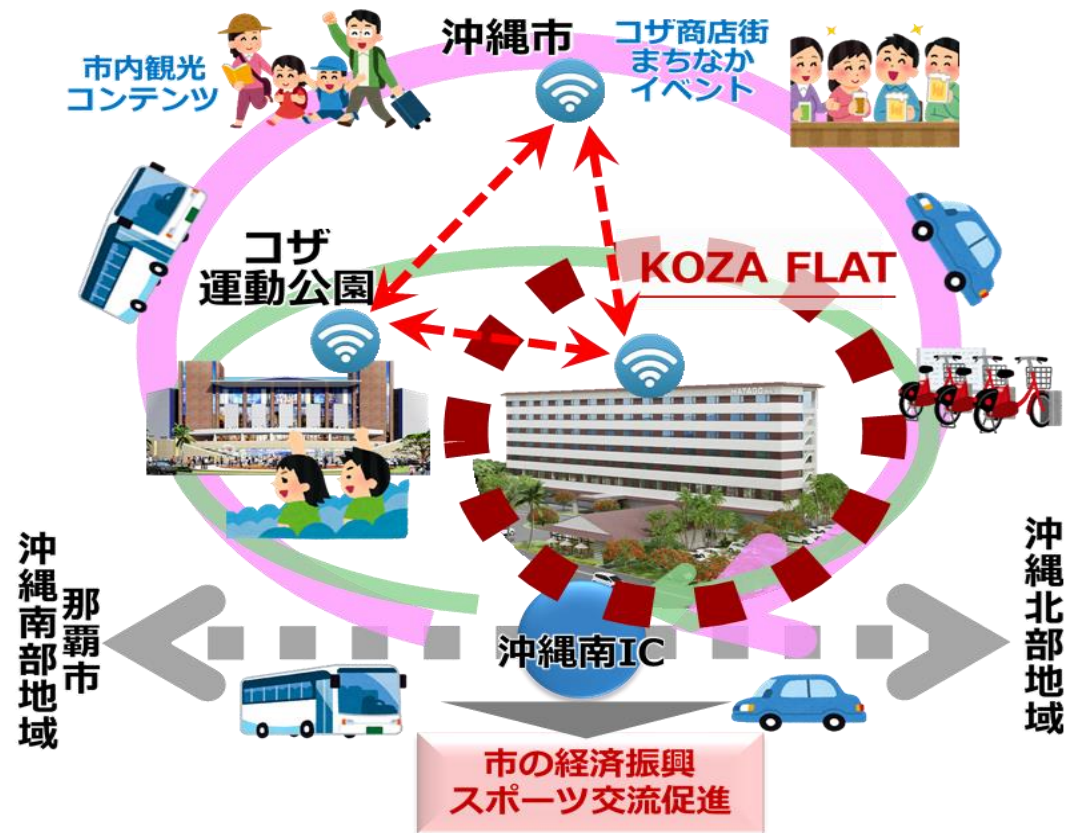
中核事業 環境、都市・地域創生② 官民連携の開発

沖縄県で最初のコザ運動公園パークPFI事業（ホテル、緑地整備等）に参画

◆ Park-PFI事業

新たな公園施設（ホテル、店舗、駐車場、緑地等）の整備、その後の約20年間の管理運営支援に参画

◆ 事業提案全体のプロジェクトマネージャー、地域活性化、緑地整備等を担当



▲ 公園内のホテルを核にした地域活性化のイメージ

▼ 公園内のホテルの整備イメージ



▲ 緑地整備のイメージ

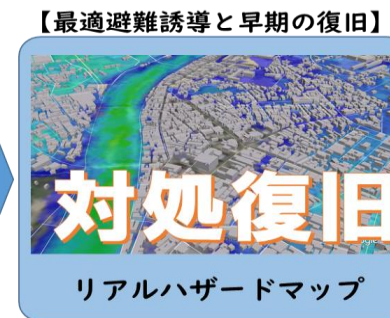
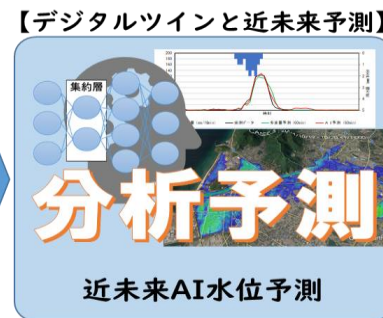


▲ 駐車場整備のイメージ

中核事業 社会インフラ・防災① 防災・減災

豪雨災害から命を守る高度防災情報システムを展開中（納入済）

- ◆センサによる豪雨災害状況の「見える化」、ビッグデータに基づくAI「分析予測」、マップを活用した最適避難誘導等の「対処復旧」を提供（総務省の採択事業）



国の事業であるスマートシティに実装可能な災害リスクの可視化プロジェクトを実施中

- ◆ProjectPLATEU（国）のユースケースに選定 3Dデータを防災対策に活用
- ◆3D都市モデルを活用した防災ユースケースに3件採択されて住民の命を守るシステムを構築中

	事業テーマ
防災分野	災害リスクの可視化ツールによる住民参加型防災訓練への活用
	災害リスクの可視化ツールによる超過洪水に対する防災教育への活用
	河川整備の段階整備毎の水害リスク評価と整備効果の見える化



中核事業 社会インフラ・防災② 道路設計

日本全国で基幹ネットワークとなる道路の計画・設計・事業監理を実施

- ◆街路・都市環状道路や自動車専用道路など、基幹となる道路の計画、設計などに多数参画
- ◆東日本大震災復興事業としての道路整備にも全社をあげて多数従事（設計、事業監理）
- ◆生産性向上・業務効率化に向けたDX（BIM/CIM）を推進中

▼大野竹田道路 竹田IC
(大分県)



◀鳥取西道路 青谷IC
(鳥取県)

相馬巨理線（事業監理）▶
(福島県)



▲宮古盛岡横断道路 宮古田鎖IC
(岩手県)

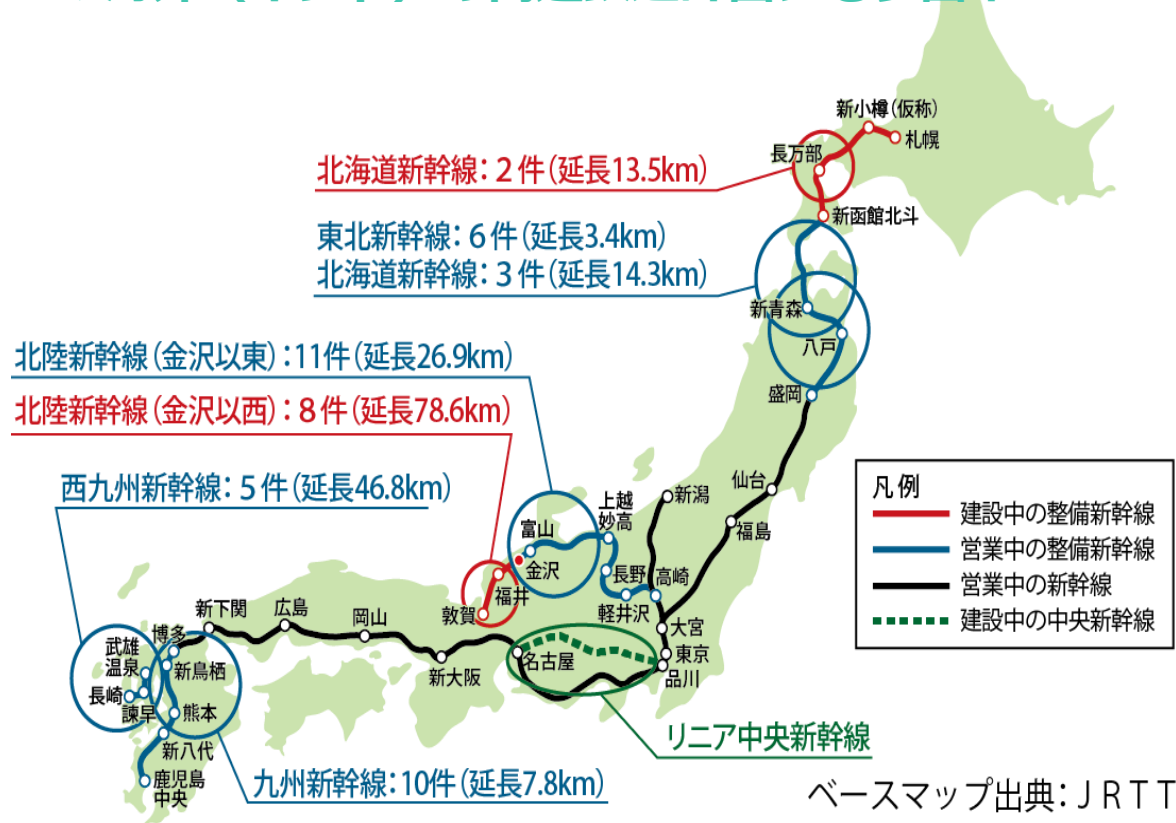
中核事業 社会インフラ・防災③ 鉄道設計

整備新幹線・リニア中央新幹線の建設プロジェクトへの参画

◆整備新幹線・リニア中央新幹線の事業促進に貢献

北海道新幹線・北陸新幹線・リニア中央新幹線・九州新幹線・西九州新幹線

◆海外（インド）の高速鉄道計画にも参画中



2022年9月開業の西九州新幹線



▲長崎県東彼杵町付近



▲佐賀県嬉野市付近

▲当社グループが設計等に関与した整備新幹線・リニア中央新幹線の状況

中核事業 海外（国際協力）

国内で培った豊富な経験と高度の技術力をグローバルに展開（インフラ輸出）

◆調査・分析、施設設計・施工監理等のハード面から、組織・制度づくりや人材育成等のソフト面まで対応

スーダン

水資源の運営・維持管理の強化



スーダン共和国より感謝状▶
(2022.2)



防災機能向上支援事業



ブータン

土砂災害リスク軽減のためのソフト施策



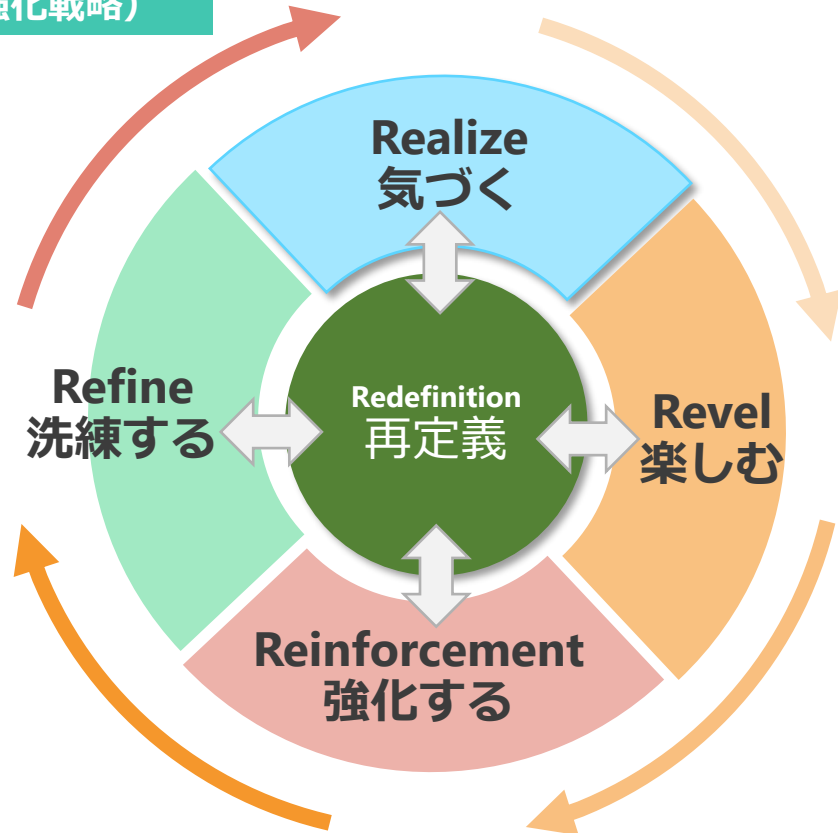
スリランカ

成長戦略① 経営戦略の全体像

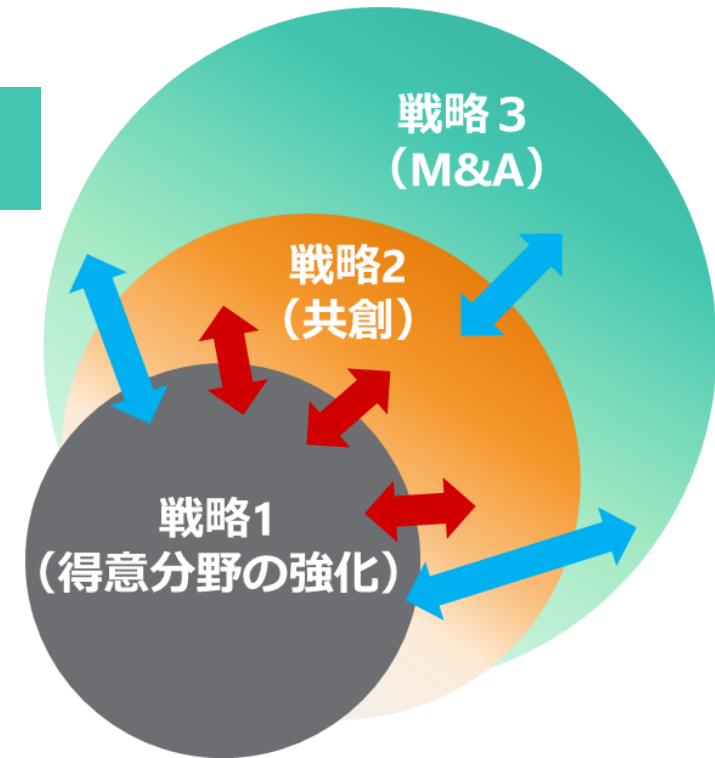
社会ニーズの変化にあわせて経営戦略の全体像を「再定義」

◆ 人材強化戦略と事業拡張戦略を再定義

戦略ループ(5R)
(人材強化戦略)



戦略ステージ
(事業拡張戦略)



戦略3

M&A推進を中心とした成長戦略の推進

戦略2

研究開発、他社連携を核とした共創戦略の強化

戦略1

建コン事業分野の連続的な強化

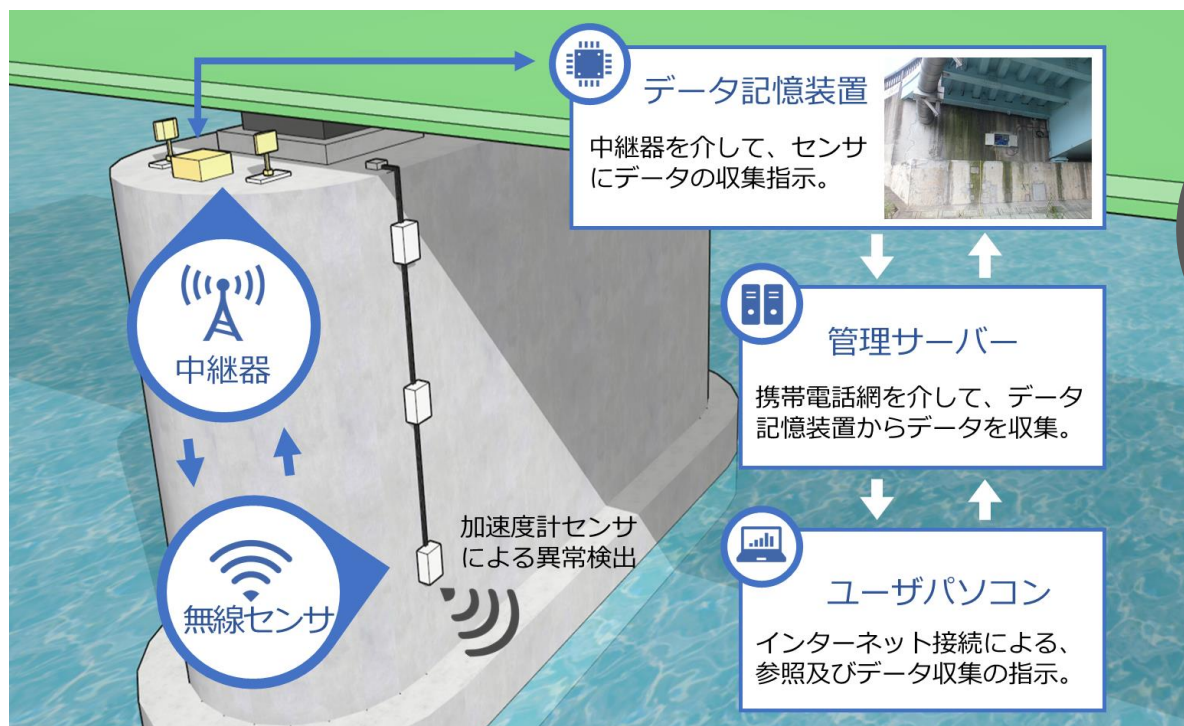
成長戦略② 研究開発・新規事業開発

市場ニーズに即した技術の共同研究開発

- ◆ 公的研究機関と連携し、AI、モニタリングや非破壊計測技術等の先端技術を開発を推進
SIP（内閣府）、土木研究所、日本下水道新技術機構、理化学研究所等との連携

開発技術（下部工基礎の洗掘モニタリングシステム）の市場投入実績

- ◆ 河川内の下部工基礎の洗掘状況を遠隔地から監視
- ◆ 洪水時に橋梁の通行可否を判断し、管理者にメール通知



技術開発・検証

SIPにて
本システムの
有効性を
検証

実証技術の
特許を取得

周知・広報

国交省
点検支援
カタログ掲載

各種メディア
で多数紹介

市場展開

適用実績
30件以上
※スポット計測
含む

成長戦略③ 革新的技術（AI）の活用

開発技術（AI技術の下水道分野への応用）の市場展開の開始

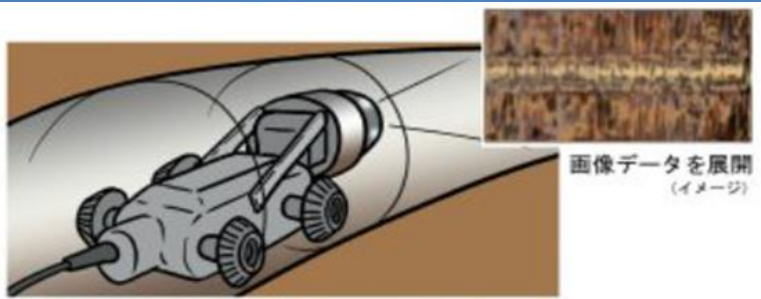
◆管路損傷発生予測

下水道管路劣化に影響する管の特性や道路種別等からAIを用いて損傷発生予測技術開発

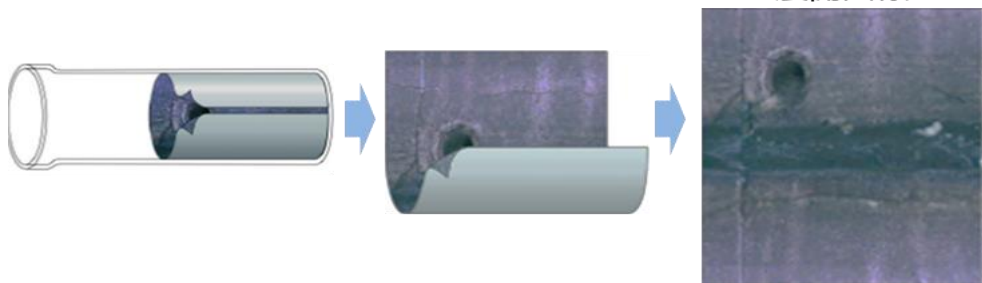
◆雨天時侵入水予測

分流式下水道の污水管に侵入した雨水により、雨天時にマンホールからの溢水や破損が発生
AI解析により発生リスクの高い箇所を予測する技術を開発

下水道管路 展開カメラ



スパン全体管内画像を、管軸方向に展開図化
展開画像



雨天時侵入水発生箇所予測



分流式下水管への
浸入水推定に係る
特許を取得
<第7143542号>

何らかの原因で
污水管に雨水が浸入

▲マンホールより溢水 ▲マンホール周辺破損 ▲污水幹線から溢水
----- 【出典】 天理市 HP ----- 【出典】 東京都 HP -----

成長戦略④ M&A戦略

◆建コン（多分野展開、多地域展開）と異分野連携：投資予算20億円（手元現預金額）

適社度評価軸

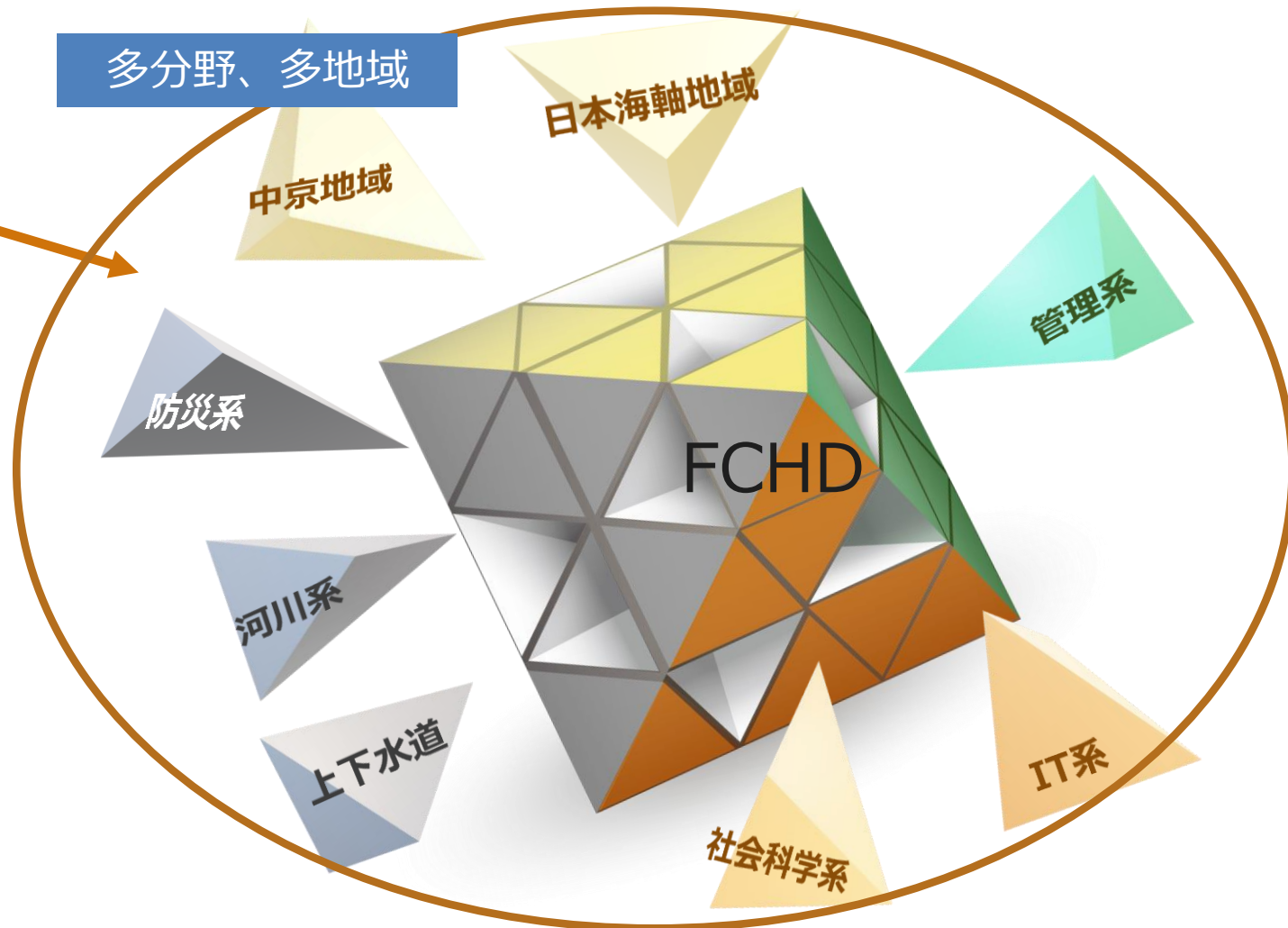
経営理念

新しい価値の創造により
社会の持続的发展に貢献します

目指す姿

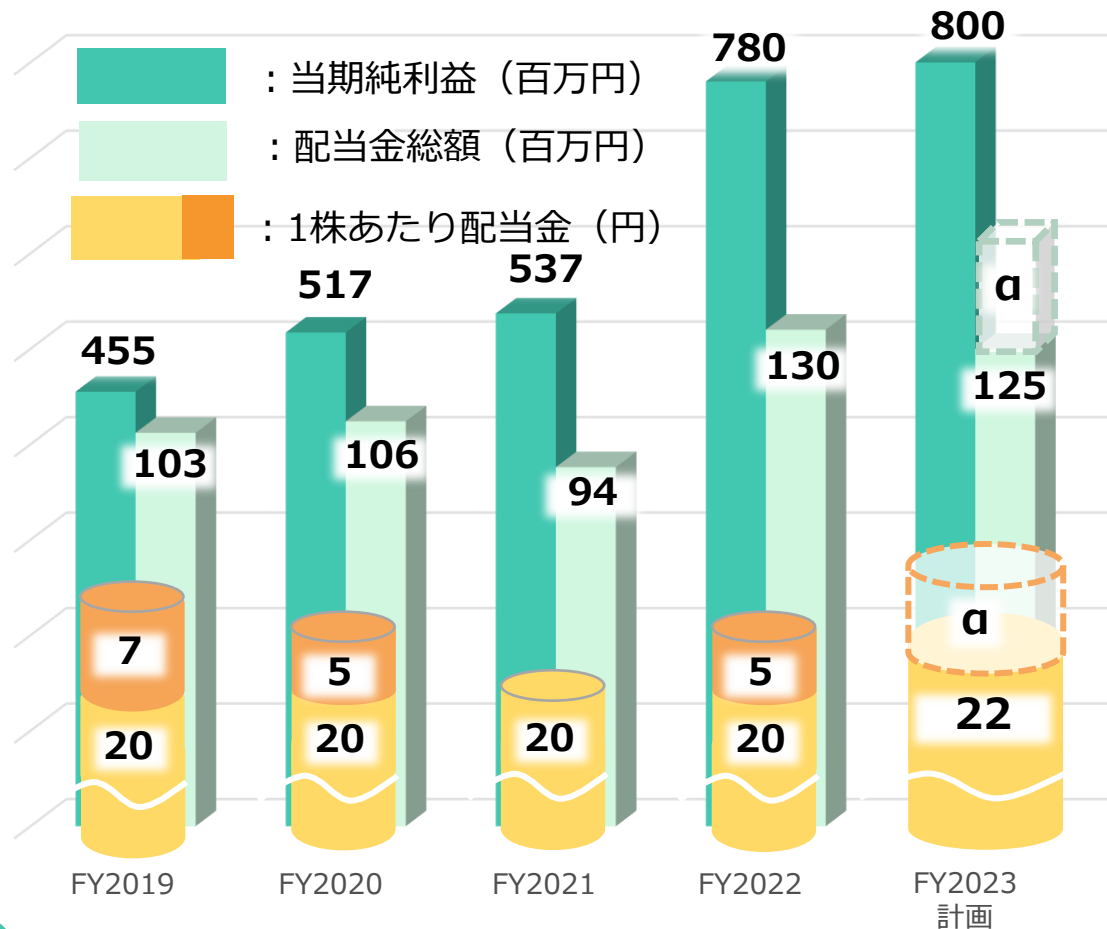
- 1.我々は高い技術力を基本とした事業活動で
顧客満足を達成します
- 2.上質な顧客価値の創造により**利益**を生み
社会と株主に対する責任を果たします
- 3.全従業員が仕事に誇りをもち仕事を通じて
人間的成長と幸福を達成します

多分野、多地域

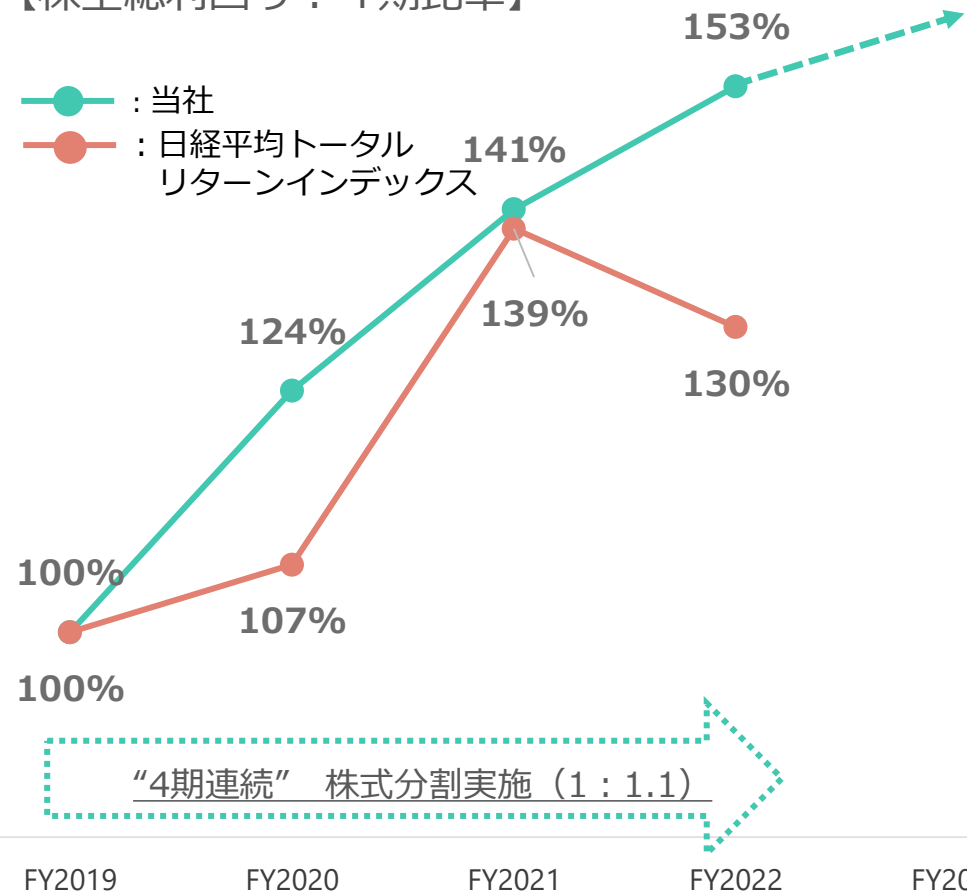


株主還元施策

- ◆ 期首公約配当をベースに安定配当
- ◆ 達成した経営成績に応じたステイクホルダー還元
- ◆ 保有株式数に応じた金銭配当優先施策へ切り替え（優待休止）



【株主総利回り：4期比準】



直近業績と期末予想

直近業績は堅調に推移中、期末も増収・増益を計画

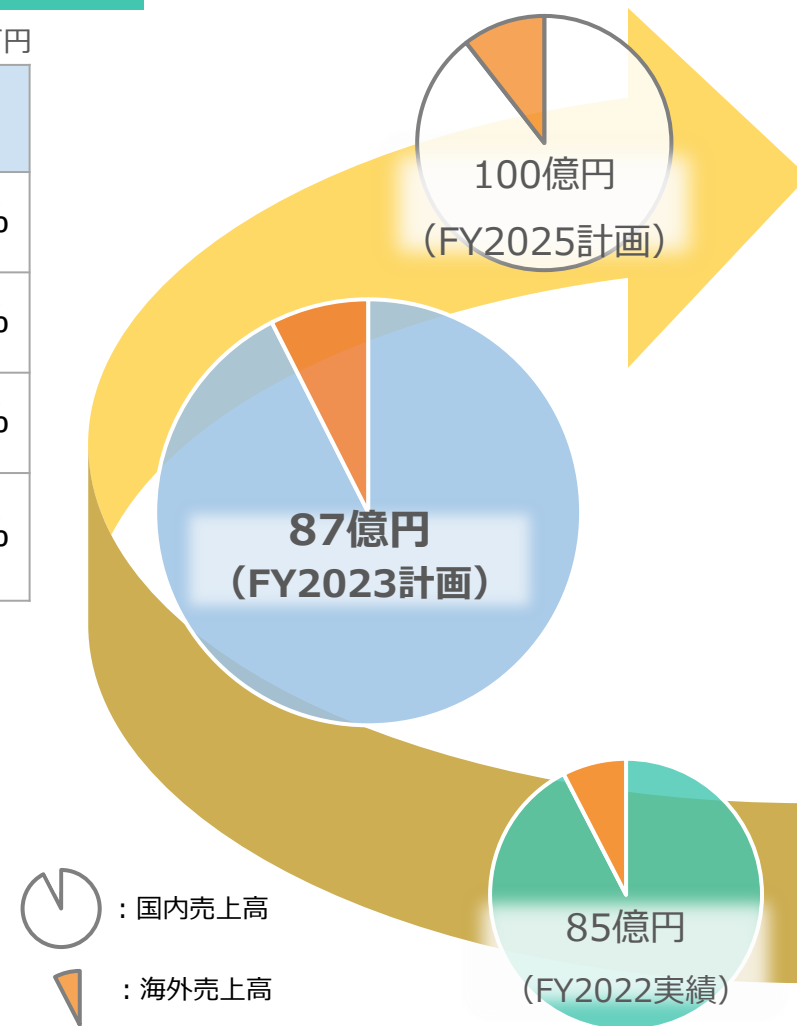
単位：百万円

▷FY2023計画	FY2022実績	FY2023計画	対前年同期増減	
売上高	8,546	8,700	+154	+1.8%
営業利益	1,155	1,200	+45	+3.8%
経常利益	1,161	1,200	+39	+3.3%
当期純利益	780	800	+20	+2.6%

単位：百万円

▷直近業績（1Q）	前期	当期	対前年同期増減	
受注高（建コン分野）	7,561	7,844	+486	+3.6%
売上高	1,746	1,823	+77	+4.4%
営業利益	80	192	+112	+140.1%
経常利益	88	199	+111	+124.6%
四半期純利益	67	120	+53	+77.2%

国内外別売上高構成

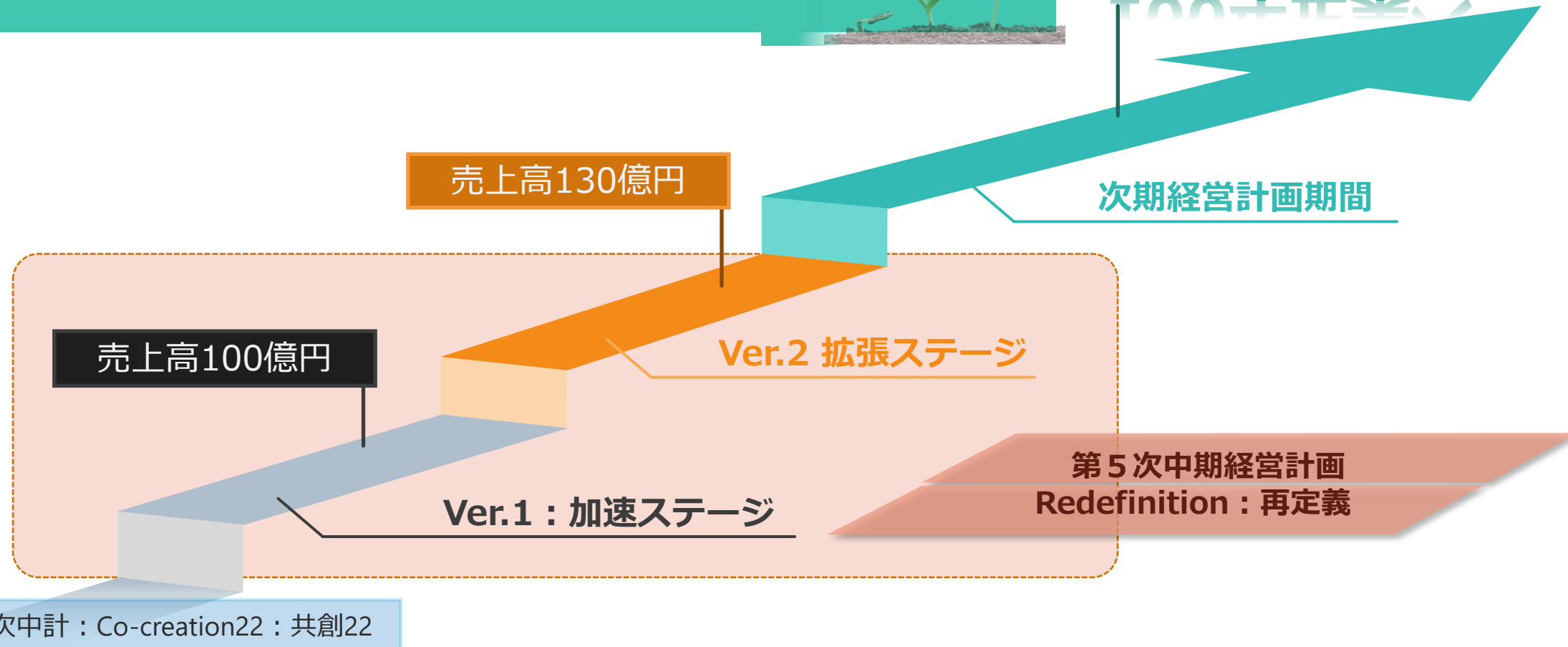


ご視聴ありがとうございました

わが社の存在意義は、人々の安全と安心を守り
事業を通して社会の持続的発展に貢献することです。



100年企業へ



補：建設コンサルタントという仕事のご紹介

私たちの暮らしを支える土木がわかる「土木×落語」を創作しました。

弊社グループ会社も会員の一般社団法人建設コンサルタンツ協会では、より多くの人に土木について関心を持っていただき、「建設コンサルタント」という職業を知っていただくために、「土木×落語」プロジェクトを立ち上げました。

土木落語の創作には柳家小きん師匠に携わっていただいています。

土木落語 第一弾 「水屋の夢」
土木落語 第二弾 「パパは建設コンサルタント」

土木落語プロジェクトYouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UC_BWJpmuP_gxKP2Phl5xf4A